

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和5年度 第3回 愛川町学校運営協議会 (中津小学校)		
事務局 (担当課)		中津小学校		
開催日時		令和6年2月14日 (水) 15時00分～16時30分		
開催場所		中津小学校 1階 多目的室		
出席者	委員	7人 (鈴木、柏木、小島、熊坂、富永、西村、藤本)		
	その他	0人		
	事務局	5人 (教頭、ほか4人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開・一部公開の場合は、その理由		/		
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 令和5年度「学校づくりアンケート (学校評価)」の質問事項について (2) 令和6年度の計画等について (3) その他 4 閉会		

審 議 経 過

(1 / 4)

※審議の要旨は次のとおり (○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開会

2 あいさつ

鈴木会長あいさつ

3 議題

(1) 令和5年度「学校づくりアンケート(学校評価)」について

・学びづくり推進グループ

○(委員A) ずっと一斉授業で行っているのか。地域の方や、町の教育委員などの力も借りていく必要があるのではないかと。愛川町の子どもたちのために協力していきたい。

○(委員B) 基礎学習プリントは、自作のものなのか。

●自作のものもあるが、市販のプリントを使って、取り組むことに少しでもハードルが高くないようなものを使っている。

○(委員B) シンプルな問題がよいのではないかと。取り組み始めたのはいつからか。

●今年度の4、5月から。

○(委員B) ぜひ、続けていってもらいたい。机上での練習だけでなく、比例など算数の中には体験活動も必要なのではないかと。

○(委員A) 新しいアプリなども入れていってもらえるとよいのではないかと。子どもたちの状況に差があるので、自宅でもいろいろ学習ができるようになるとよい。普段ももう少し端末を持ち帰って自宅での学習ができるようになるとよいのではないかと。

●翌日に学校に持ってこられない児童もいるので、毎日の持ち帰りはしていない。

審 議 経 過

(2 / 4)

○（委員B）学校で十分使えるようにしていくのがよいのではないか。

・心づくり推進グループ

○（委員A）不登校が多く見られるので、学校から保護者への情報を伝えてもらえるとうり
がたい。連絡メールで情報発信してもらいたい。

●連絡メールは緊急時に知らせるものなので、ブログ等で周知をしていきたい。

○（委員B）中津小学校では、外国籍の児童が幸せに生活できることが課題の一つだと思う。
大人だけでなく、児童の力を使って理解が進むような取り組みをするとよいのではないか。

●今年度、国際福祉委員会で外国につながりがある国について発表を行った。外国籍の児童
が自慢できたり、嬉しいと思ったりできるような取り組みを今後も続けていきたい。

○（委員C）中津小学校には外国につながりのある児童がたくさんいることについて、児童
が実際どう感じているか知りたい。ネガティブなイメージがあるのか。

○（委員A）インクルーシブ研究は物的、人的なものが必要だと思うが、どういった課題が
あるのか。

●国際教育コーディネーターについての理解をまず、先生方に知ってもらいたい。

○（委員C）多国籍なことが大変だとマイナス面ばかり、大人が言っていくと、児童もそう
思ってしまう。多国籍がプラスになるように考えていきたい。

●教職員は、この状況を受け入れ、あたりまえだと思っているので、子どもたちも当然のこ
とだと捉えていると思う。

○（委員D）全く日本語がわからない児童はどうしているのか。

●年齢相当の学年に所属しているが、日本語の「あ」「い」「う」を学習している児童もいる。

審 議 経 過

(3 / 4)

・環境づくり推進グループ

○（委員A）自問清掃について、教師から褒めたりすることも大事ではないか。

●児童のアンケートや教職員の意見を集約しながら、中津小学校にあったやり方をこれからも考えていきたい。

○（委員C）集中する時間も児童の年齢によって違うので、時間を区切っていってもよいのではないか。

○（委員E）児童のアンケートを見ると、高学年ほどパーセントが減っているが、低学年のお手本になってもらいたいし、自分の学び舎を自分できれいにする気持ちはもってもらいたい。いつもこのような感じか。

●高学年になると客観的に見るので、低くなる傾向もある。高学年の中には「やってよかった」という感想を書いている児童もいる。

○（委員F）各場所での避難行動をわかりやすく絵などに表すのもよいのではないか。

●学校づくりアンケート（学校評価）についての説明

参考にさせていただき、保護者に返せるところは、回答をしていく。

（2）令和6年度の計画等について

●ランドデザインについては、今年度と大きく変わることはないが、具体的な取り組みについては、教職員と話し合いながら変わっていくところもある。到達目標については、このままの数値で行う。「インクルーシブな学校づくり」を一見してわかるようにしていく。

<インクルーシブな取り組みについてプレゼン>

○（委員C）学校でどのようなことをやっているかよくわかった。保護者にも伝えていくこ

審 議 経 過

(4 / 4)

とが必要ではないか。情報発信をしていくとよいのではないか。

○ (委員B) 困っていることの、具体がわかると人材バンクでも集まりやすい。

○ (委員A) 睡眠時間をとって、食事をしっかり取ることを、伝えていってほしい。

○ (委員D) 自分事にならないと、なかなかわからないのではないか。

○ (委員B) 大人が発信していくことが大切。PTAとしても発信してもらおうとよい。

(3) その他

● 「ありがとうの会」について事務連絡

4 閉会

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

会長(委員長)
署名欄

鈴木美由紀